

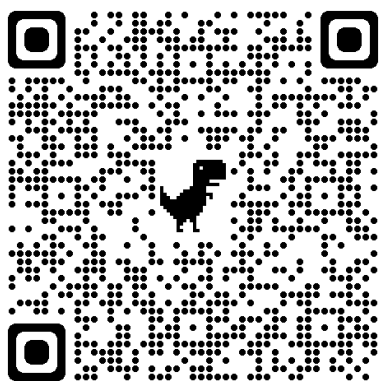


和歌山県立 紀伊コスモス 支援学校

第17回 公開授業・ 公開研究会

連絡先

TEL :
073-461-6500
FAX:
073-461-7300



<https://forms.gle/cBMhh2JwX3ci7hrw8>

問い合わせ窓口: 支援教育部 黒江 純子

昨年度の「第16回公開授業・公開研究会」は、新型コロナウイルス感染症のため、動画配信にて実施しました。『主体性を軸としたキャリア教育の推進』という本校の重点教育課題のもと、「つきたい力」の系統性、キャリア教育の本校における整理、また、「つきたい力」の中でも特に「主体性」に焦点をあてた授業づくり、それらを組織的に取り組んできたことについてご報告させていただきました。今年度につきましては、「つきたい力」がどのように授業に反映されているのか、という「授業づくり」に焦点をあて、参加者の皆様と共に、考えを深めたいと考えています。さらに特別講演として、和歌山大学教育学部教授 武田鉄郎先生にお話をいただきます。感染症防止対策のため、人数制限等ございますがご参加いただけること、心よりお待ちしております。

テーマ

つきたい力からデザインする授業づくり
～つきたい力、主体的に学ぶ、学習評価～

日時

令和4年11月29日(火)

13:15～17:00(受付12:45～開始)

(事前配信: 11月18日～11月29日)

参加方法

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者は先着20名とさせていただきます。

*「1事前配信」は、参加者全員にYouTube配信のURLをご案内させていただきます。

*新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更もしくは中止させていただく可能性がありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

申し込み方法

- ① 左記QRコードもしくはURLから申し込みフォームへすすんでください。
- ② 申し込みフォームに所属・氏名・メールアドレスをご記入ください。
授業協議会で希望するグループを選択してください。
(11月18日締切)
- ③ 後日申し込みされたメールアドレスに、申し込み完了のメールが届きます。
1週間経っても返信がない場合はお電話にてご連絡ください。
- ④ 配信前日に配信用URLを添付したメールが届きます。

内容

1 事前配信 (11月18日～11月29日 YouTube)

「学校概要」 校長 上村 弘幸

紀伊コスモス支援学校における在籍児童生徒の状況、本校教育目標や教育活動に関する概要をご説明いたします。

「研究概要」 実践研究部 瀬角 純平 教務部 岩橋 求実

今年度は昨年度整理し直した「つきたい力」をどう授業に活かしていくかを考えて、授業づくりに取り組んできました。ワークを通して本校の授業づくりについて大切にしたいことや、確認したことを含め、日々の授業の中で計画、改善し、学校全体での取組を研究概要で報告いたします。

それらを踏まえて、授業参観協議会を行います。授業概要については後述の4授業を参観、協議していただきますので、ご希望の授業グループをお選びください。

2 授業研究協議会 (11月29日 13:15～15:20 本校)

感染症対策のため、直接児童生徒の授業を参観していただくのではなく、授業場面をビデオ視聴で参観していただきます。参観後は、小学部・中学部・高等部の知的教育部門と、小学部の肢体教育部門の4授業のうち、いずれかのグループで本校教員とともに協議会に参加していただきます(各授業については後述しています)。協議会についても、感染症対策のためにグループごとに教室に分かれ、各教室をリモートでつないで、各グループの話し合いを共有し、助言者による好評をいただきます。

3 特別講演 (11月29日 15:30～17:00 本校)

教育者・研究者として大切にしてきたこと・今後の特別支援教育に求めること

「認知的評価で『あきらめさせない』指導・支援の在り方を求めて」

和歌山大学 教育学部 教授 武田 鉄郎 先生



プロフィール

新潟県に生まれ、養護学校、小学校等で教員をされた後、国立特殊教育総合研究所研究員、総括主任研究官を経て、現在は和歌山大学の教授としてつとめられています。さらに、全国多数の大学や、海外ではハノイ教育大学大学院等の講師としてもご活躍されています。著書は、『発達障害が引き起こす不登校へのケアとサポート』『発達障害の子ども「できる」を増やす提案・交渉型アプローチ 叱らないけど譲らない支援』など。

内容:武田鉄郎先生が、教育機関や研究機関等で、長年特別支援教育に関わられ、ご尽力されてきたことをふまえて、特別支援教育への思いや大事にされてきたこと、そして、今後の特別支援教育への願いについてお話していただく予定にしております。

*授業研究協議会グループ

<p>① 小学部 知的 教育部門</p>	<p>【生活】 「教えてピタゴロー 博士」</p> <p>指導助言者： 本校元校長 学習指導支援員</p> <p>田中 資則先生</p>	<p>授業者：★山本真史・坂田昌寛 運営者：中村真由・渡邊真優美</p> <p>授業の概要： 5・6年生7名の集団である。生活科「ものの仕組みと働き」の内容で、子どもたちの好きな「ピタゴラスイッチ」の装置を作る。おもりの重さの関係や、てこのはたらきを使った物の動かし方など、これまで学習してきたことを活かし、子どもたちが実験しながら「ああしよう、こうしよう、やってみよう」と自分たちで相談する場面を作りながら学習を進めたい。</p>
<p>② 中学部 知的 教育部門</p>	<p>【理科】 「物質のエネルギー」</p> <p>指導助言者： 和歌山県教育委員会 義務教育課 副課長</p> <p>中井 章博先生</p>	<p>授業者：★藤井康晴・野口明子 運営者：藤澤憲・石塚真</p> <p>授業の概要： 2年生5名の集団である。難しい内容も多い教科であるが、授業ルールを提示し、予想を立ててから実験するという流れで中1の頃より学習を積んできた。意見を発表するのが気恥ずかしい生徒もいるが、実験や話し合い活動の多い授業形態を続けてきたことにより、選択したり発表したりできるようになってきた。意見が間違っている前向きに捉え、理科の学習を身近な生活に結びつけられるように指導していきたい。</p>
<p>③ 高等部 知的 教育部門</p>	<p>【職業】 「おもてなしをしてみよう」</p> <p>指導助言者： 本校元校長 学校運営協議会会長</p> <p>中野 卓哉先生</p>	<p>授業者：★奥部大輔・西田幸生・山本友里 運営者：西田幸生・杉本七望</p> <p>授業の概要： 1年生8名の集団である。11月にお店屋さんを開く予定にしており、そこに向けて学習を進める。これまで客側だった立場から、身近な店の店員の仕事について、どのような仕事内容があるのか考え、「デキる」店員とは何かをイメージし、「デキる」店員を目指して本番に向けて練習する。それぞれが自分の役割を果たし、教師のサポートも受けながら自分たちでやり遂げてほしい。</p>
<p>④ 小学部 肢体 教育部門</p>	<p>【生活】 「みんなであそぼう～わくわくランド～」</p> <p>指導助言者： 和歌山県教育委員会 特別支援教育室長</p> <p>津村 孝幸先生</p>	<p>授業者：★東谷知香・高橋浩文・瀬角純平 運営者：高橋美和・大木沙織</p> <p>授業の概要： 仲間意識もついてきた6年生4人の集団である。「やりたい」「やってみよう」「一緒にしよう」というような遊びを設定し、子どもたちの主体的な姿や、意欲的に関わる姿を引き出すなど、肢体不自由の子どもたちの遊びについて考えたい。また、写真等を活用して振り返り、成長の様子、がんばっていた姿を見える形で残し、子どもたち自身で振り返られるようにしたい。</p>

*授業者の★は、主指導者。